

【渉外・広報室方針】

室長 大井 貴正

我々は、日々の活動によって会員の資質向上を図りながら、運動に取り組む姿勢を市民に示すと共に、人やまちの持つ魅力を市民に広め、明るい豊かな社会の実現を目指さなければならない。新たな運動の実現に向けて勇敢に挑戦し、飛躍を遂げた会員の活躍する姿や一つひとつの運動について対内外に力強く伝播し続け、共感の得られる市民意識変革運動を展開し、会員と市民が一丸となって魅力ある名古屋のまちを共創していく必要がある。

まずは、会員の資質を向上させるために、日本青年会議所や各地青年会議所と連携しながら連絡調整を行うのみならず、会員に運動の目的や活動に必要な志を明確に伝え、出向や諸会議への積極的な参加を啓発すると共に、円転自在で風格ある渉外活動を実施する。そして、出向者の活動意欲を高揚させるために、彼らの活動に対し心を込めた支援を実施する。さらに、各運動に対する認知度を上げ、参加員数を増加させるために、議案作成段階より適切な審査によって広報面から支援すると共に、様々な情報媒体を活用し、運動を迅速に伝播する。また、名古屋青年会議所に対する市民からの知名度を継続的に上昇させるために、例会や事業の場において組織の価値を高められる新たな方法を検証し、次代へ継承できるブランディングツールを制作する。そして、名古屋のまちの新たな魅力を発掘するために、他の都市に誇れるものづくりや日本独自の文化について研究する。さらに、発掘された名古屋のまちの新たな可能性に心を躍らせた市民と会員が、躍動感溢れるまちを共創するために、市民の意識変革の契機となる名古屋の魅力を引き出す例会を開催する。

内外との交流によって資質が向上すると共に、活動の原動力を最大限に引き出された会員が、新たな運動に挑む積極的な姿勢への共感を得ながら、まちの持つ魅力と可能性に対する意識を変えた市民と一丸となり、「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

渉外委員会方針

委員長 落合 徹哉

我々は自らの掲げる理想の実現に向け、実行力の伴った共感の得られる魅力的な運動を推進していかなければならない。日本をけん引するLOMとして、会員一人ひとりの力を最大限に引き出すと共に、出向者が誇りを持って運動に専念できる環境を創る必要がある。

まずは、日本のリーディングLOMとして、共感の得られる運動を推進するために、内外に対して範たる姿勢を示すことのできる品格ある渉外活動を行う。そして、対外との連動性を高めるために、各LOMとの交流と情報交換を行い、正確な情報を迅速に収集し、対外統括窓口として調整と対応を行う。さらに、当事者として多くの気づきや学びを得る機会を会員に提供するために、諸会議・諸大会の目的や意義を伝え、積極的な参加を啓発する。また、会頭輩出年度のチャンスを活かし、我々の代表として出向する会員が、誇りを持って運動に取り組める環境を創るために、各地で活躍する出向者の雄姿に光を当て、形だけではない心のこもった支援を実施する。

運動に取り組む意義を理解した会員一人ひとりが、明確な目的意識と誇りを持って共感の得られる魅力溢れる運動を展開し、「新しい価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

広報委員会方針

委員長 保田 隼希

実行力の伴った運動の実現には、我々に対する市民からの認知度の向上と、運動に対する幅広い共感が必要である。市民の意識変革に向け、担い手である会員が同じ価値観を共有し、一致団結して行動していく中で、我々自身の存在感を高めていかななければならない。

まずは、会員が当事者意識を持ち、一致団結して運動を展開するために、ポケット名簿を作成すると共に、年間を通じた対内広報活動を行う。そして、我々に対する市民からの認知度を高めるために、運動の進捗と成果が分かる広報誌の発行や、ホームページやSNS等を用いた対外広報活動を行うと共に、継続的な効果を見込めるブランディング方法を確立する。さらに、共感の得られる魅力的な運動を構築するために、対象に合わせた媒体の使い分け等、広報計画に関する適切な助言を行うと共に、告知活動の支援やプレスリリースを実施する。また、連綿と受け継がれてきた創始の想いを共有し、本年度の運動の軌跡を次代に継承するために、会報を作成する。

存在感を高めた組織の中で、会員が一致団結して新たな運動に挑戦し、市民からの共感を得られる魅力溢れる運動を

展開し、「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

J C フェスティバル委員会方針

委員長 川村 浩嗣

特色ある名古屋のまちに愛着を持つ市民は少なくないが、我々はその魅力をより広く浸透させていかなければならない。より多くの市民にまちの魅力を認識させ、市民一人ひとりが自信を持って名古屋の素晴らしさを語り、その魅力を対外に発信していく必要がある。

まずは、国民がどのような点にまちの魅力を感じるかを知るために、行政の行った調査結果の内容を分析する。そして、名古屋の誇れる魅力が何かを認識するために、国内外から注目されている特徴を多岐に亘って検証する。さらに、市民が名古屋の素晴らしさを語れるようにするために、名古屋の魅力を表現できる人物や、企業・諸団体と連携し、市民が名古屋の特徴を様々な形で体験できる場を提供する。また、市民が名古屋の魅力を対外的にアピールできるようにするために、検証された名古屋の魅力と日本の文化を融合させたクール・ナゴヤという価値観を発信することで、心躍る名古屋の新しい文化の創造につながるムーブメントを起こす例会を開催する。

市民が名古屋の素晴らしさを語り、名古屋を愛する人が増えると同時に活気をもたらし、魅力あるまちというイメージが根づいた「新たな価値観を創造する名古屋」を実現する。

【カッコいい名古屋人育成室方針】

室長 武田 裕規

いつの時代も志を持って果敢に挑戦する者が世界を切り拓き、まちや人に明るい未来の可能性をもたらしてきた。情報技術の進歩の一方で人との結びつきや生きがいを見失う人が増えている現代だからこそ、仲間を大切にするという名古屋人の魅力を引き出し、名古屋を豊かな未来へ導いていく人材が求められている。人のために動き切磋琢磨し、いかなる問題にも挑み続け、仕事を通じてまちや人を幸せにできる人を育成していく必要がある。

まずは、人を惹きつける魅力の根源を知るために、これまでに時代を切り拓き多くの人々を導いてきた人の行動力に触れ、その根幹を形成している人間性を探求する。そして、自分と他者の双方を高め合う力を築くために、先難後獲の覚悟を持って行動する大切さを伝え、摩擦を恐れず人のためを思う気持ちが常に自然と湧き出る人間力を培う例会を開催する。さらに、人生において何事にも意義を見出すために、あらゆることに試行錯誤し挑戦する重要性和、物質的だけではない精神的な豊かさを得られる多様なライフスタイルの魅力を伝達する。また、努力した先にある達成感を得て人生を豊かにするために、人間の幅を広げる様々な活動の機会を設け、その楽しみや学びと共に人のつながりに触れられる事業を実施する。そして、人の心に響く経営の本質を知るために、どのような立場や世代の人も仕事に信念を抱き、社会に寄与する意義を持つことができる経営手法を研究する。さらに、全ての社会人が心と社会を豊かにするために、経済性のみならず自身と他者の幸福を追求でき、商売の先にお互いの心が通い合うような働き方を発信する例会を開催する。

人のために失敗を恐れず勇気を持って行動し共に成長できる人間性を身に付け、何事にも学びを得て真の豊かさを感じられる人生を探し求め、物心両面が満たされる働き方を実践できるカッコいい名古屋人が溢れ、「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

爆発する人間力確立委員会方針

委員長 春名 潤也

人間としての魅力に溢れた人物は、様々な経験を通して他者を惹きつけてやまない爆発的な力を身につけている。次代を切り拓く人材には、己の人生を極めると共に、他者の生き方に好影響を与えられる人間力と、より豊かな社会を実現しようとする志が必要である。

まずは、人間力の源を明らかにするために、人を強く惹きつける魅力を持った人々の生き方を検証する。そして、人の放つ魅力の可能性を知り、自身の人間力を高めるために、強烈な魅力を持った人々に様々な視点から光を当て、困難な経験をどのように自らの力と換えてきたのかを探ると共に、そのパワーに触れることで、人の内面から自然と溢れ出る魅力を磨く方法を学ぶことのできる例会を開催する。さらに、会員が公私両面において何事にも挑戦する気概を持ち、生きがいに満ちた人生を送るために、尽きない好奇心とあくなき探究心を刺激し、何事にも学びがあることを伝え、自

身の幅を広げ他者とのつながりも創出できる体験を共有する事業を実施する。

あらゆる経験を糧として人間力を爆発させた市民が、溢れる魅力で他者に好影響を与え、自身の成長を社会の発展に還元する「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

心ある経営実践委員会方針

委員長 田村 昌之

企業が利益という価値を重視するあまり、人を幸せにし、社会を発展させるという経済の本来の役割が損なわれている。企業は無機質な尺度を絶対視する価値観から脱却し、人の心を動かし、社会を発展させて人の幸せへとつなげられる経営を実践する必要がある。

まずは、利潤追求だけではない経済本来の意義を見直し、経済活動のもたらすべき価値がどのようなものなのかを理解するために、無機質な数値から論じるのではなく、心理学的な面から心の通った経営を実践する企業の理念や方針を研究し、仕事に対する姿勢や提供する価値に対する想いを経営にとって必要不可欠な要素として抽出する。そして、人と社会を真に豊かにすることのできる経営のあるべき姿を取り戻すために、誰からも必要とされる企業の経営に対する考え方を体系的にまとめ、売り手が仕事に働きがいを感じ、買い手が物やサービスを通じて感銘を受け、企業が仕事から社会発展につながられる仕組みを心ある経営として発信する例会を開催する。

人の心を動かす経営の実践が真の豊かさをもたらし、市民が社会の発展につながる仕事を通じて物心両面の幸福を感じられる「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

【たくましく生きる力育成室方針】

室長 長谷川 正樹

技術の進歩により、リアルな経験をせずとも生きていける時代が訪れ、成長過程に必要な実体験の乏しさが子供の想像力を脆弱にしているのみならず、画一的な教育環境が多様な価値観に対する寛容さと、独創的な試みを実現しようとする創造力をも奪っている。次代を生きる子供たちは、目まぐるしく変化する社会に対応すると共に、多様な価値観を反映した未来を想像し、自らの手で果敢に創造していくたくましさをも身につける必要がある。

まずは、的確に状況を判断し、未知の可能性を描く想像力と、その実現を目指して挑戦していく創造力を兼ね備えた、魅力的で自立した人間を育てるために、子供たちの無垢で素直な心を育み、知的好奇心と探求心を刺激することで、柔軟な思考力と自由な発想力を伸ばし、楽しみながら主体的に物事に取り組む力を培う事業を実施する。そして、鍛錬がもたらす心身の発達と競技者としての成長のみならず、異なった個性と交わることで生まれる新たな可能性を体感するために、スポーツを通して強い体と努力に裏付けられたしなやかな心を育み、多様性を認め合うことのできる寛容な精神を醸成する事業を実施する。さらに、地域に密着した継続事業として進化を続けてきたわんぱく相撲が、子供だけでなく、地域の住民からより一層必要とされる大会へと飛躍を遂げるために、円滑な連絡調整を行うわんぱく相撲会議を運営することで、人の温もりや痛みといった実体験を通して想像力を育み、社会を形成する上で不可欠な礼節を重んじる心と、日本人らしく勝敗を超越した配慮のできる思いやりの心を培い、子供の健やかな成長を後押しする大会を実現する。

心身の練磨によって健やかな肉体に柔らかな精神を宿した子供たちが、自立した人間としての的確に状況を判断しながら先の世を見据え、お互いの個性を共鳴させつつ、失敗を恐れることなく挑戦を繰り返していく、「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

未来へのソウゾウリョク育成委員会方針

委員長 三輪 大介

技術の進歩によりリアルな体験をする機会が減少し、経験によって培われる思考力が欠如すると共に、画一的なものの方が自由な発想力を奪っている。体験からしか得られない豊かな想像力と、独創的な試みを実現しようとする果敢に取り組む創造力を育む必要がある。

まずは、多様な経験から生まれる未知の可能性を思い描く力を育むために、子供たちの純粋で素直な心を大切にしながら、知的好奇心と探求心を刺激する効果的な方法を調査する。そして、柔軟な思考力と自由な発想力を伸ばし、未知の可能性に挑戦することの面白さを理解させるために、困難な課題を自らの力で解決していくことによって得ることが

できる達成感をお子供たちに与えられる方法を研究する。さらに、魅力的で自立した人間を育てるために、調査と研究結果に基づいた様々な学びの機会を提供し、体験を通してお子供たちの豊かな想像力を育むと共に、思い描いた未来の実現に向けて、楽しみながら主体的に挑戦していける創造力を培う事業を実施する。

次代を担うお子供たちが無限に広がる可能性を想像し、自らが思い描いた魅力溢れる未来の創造に向けて果敢に挑戦していける「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

スポーツマンシップNAGOYA委員会方針

委員長 井上 剛

目まぐるしく変化する社会の未来を担うお子供たちには、多様性を受け入れながらも確固たる自我を持って挑戦し続けていける気概が求められている。多様な個性を認め合うことの重要性を教えると共に、如何なる困難にも怯まない心と体を鍛え上げていく必要がある。

まずは、地域に密着した事業として進化を続けるわんぱく相撲を、子供だけでなく地域住民からさらに必要とされる大会へと飛躍させるために、円滑な連絡調整を行うわんぱく相撲会議を運営することで、地域のコミュニティと共に、日本人の心である礼の精神や思いやりの心を培い、お子供たちの健やかな成長を後押しする大会を実現する。そして、実体験を通じて困難に怯まず挑戦する心や、多くの人と関わり多様性を感じることで培われる柔軟な精神を醸成するために、仲間たちと切磋琢磨しながら、目標を達成することで得られる充足感や感動を与える機会を創出し、身体の強さだけでなく様々な個性を認め合う寛容な精神性を育むスポーツ事業を展開する。

努力や真剣勝負を通じて折れない心と寛容な精神が生まれ、心身共に成長を遂げたお子供たちが、力強く未来を切り拓いていく「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

【ストロングシティ名古屋創造室方針】

室長 寺田 拓也

人材と知の集積地である名古屋は、日本経済のけん引役として、ものづくりを中心に発展を続けているが、先行きの明るいニュースが目につくのは裏腹に、市民の将来に対する不安感は払拭できていない。さらなる発展を可能にする新たな経済の柱を確立し、市民一人ひとりがその恩恵を実感すると共に、進化するテクノロジーを活用した豊かな生活を手にすることができる、優秀な人材の集う力強いまちとして日本をリードする必要がある。

まずは、名古屋経済が時代の潮流に翻弄されない本当の強さを備えるために、名古屋の抱える問題点を調査し、市民感覚に沿った実体経済の正確な現状を研究すると共に、経済発展の方向性を多角的な視点から検証することで、ものづくりに並ぶ新たな名古屋経済の柱を模索し、その実現可能性を広く発信する例会を開催する。そして、名古屋経済を担う優秀な人材が集う力強いまちを実現するために、産学官がそれぞれの強みを結集して伸ばし合うことで、多くの魅力的な人材を集めるだけでなく、次代の優秀な人材を育成する環境を創造すると共に、継続的に安定した人的資源を確保できる仕組みを形成する事業を実施する。さらに、高次元の最先端技術リテラシーによって実現される豊かな生活のビジョンを示すために、個人で実感できる利便性のみならず自然災害対策や環境保護等、様々な分野におけるテクノロジーの可能性を研究し、既に実用化されている技術に触れる体験を通して、遠くない未来に活用され得る最先端技術の実用性を検証すると共に、人と技術の関係性を理解し、さらに加速していく技術革新に希望を持つことができる事業を実施する。

優秀な人材が集うことで発展を遂げた、力強く日本をけん引する名古屋経済がもたらす恩恵と、テクノロジーの進化が実現する豊かさを市民一人ひとりが実感すると共に、未来の可能性に希望を抱くことのできる、「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

リアル経済研究委員会方針

委員長 遠藤 圭

名古屋はものづくりの分野を中心として明るいニュースが多いにも拘わらず、中小企業や市民レベルにおいては経済発展の恩恵を享受できていないとの印象も強く、市民一人ひとりが、名古屋のまちが持つ将来の可能性について実感を持って認識していく必要がある。

まずは、名古屋経済の発展に向けたランドデザインを市民と共有するために、専門家の視点だけでなく、市民の感

覚も取り入れた多角的な観点から名古屋の経済実体の現状を深掘りすると共に、既存の産業以外にも発展する可能性のある新たな分野を模索し、今後の経済発展の道筋を示し、希望に満ちた将来を広く市民に発信する例会を開催する。そして、多様な人材が活躍できる活気溢れるまちを創造するために、産業界の人材に対するニーズを研究すると共に、我々がパイプ役となって、地域密着型教育を行っている機関等と、地域自治体の問題意識や取り組みとをマッチングさせることで、産学官の連携をより強固に促進させる場を提供する事業を実施する。

まちの経済の展望を共有し将来に備えると共に、まちを活気づける人材が結集して、日本をけん引するまちづくりを実践し、「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

未来を彩るテクノロジー研究委員会方針

委員長 橘田 英明

我々は、目まぐるしく発展を続ける最先端の技術力や、その利便性に目を奪われがちではあるが、本来技術は社会に密着し、人の生活を豊かにするものである。未来を彩るテクノロジーが人々の生活を支え、人と技術が生き生きと共存する社会を創造する必要がある。

まずは、現代社会で人々の生活を変化させてきた技術が社会に与えている影響を把握するために、文明の利器の移り変わりの経緯を学び、人と技術の関わり方や、活用方法を調査研究する。そして、市民が進化するテクノロジーによる効果や実用性を理解するために、個人の利便性だけでなく、自然災害や環境保護等の対策にも役立つ先端技術の現状と未来の姿を調査研究する。さらに、次代を担う世代が人と技術が共存する社会を実現していくために、最新技術を実際に体験することで、テクノロジーによる未来の生活を想像すると共に、技術発展が市民の生活を物心両面で向上させるものであることを理解し、次代の社会を豊かにする契機となる事業を実施する。

市民が技術の見識を持ち、進化するテクノロジーに胸を膨らませ、技術発展が人々の暮らしやまちの未来に効果的に作用する「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

【魅力溢れる名古屋創造室方針】

室長 藤井 富浩

いつ起こるか分からない紛争やテロ、天災の脅威が、国境という枠組みの意味を失わせている。戦争や災害を乗り越えて来たからこそ、歴史を紐解き次代の平和への意識を醸成し、大切な人たちの命や生活、被災の際には被災者の心さえも守っていかなければならない。戦争を体験していない我々責任世代が、過去の出来事を忘れることなく次代を想い、災害に強いまちとしての役割を果たし、魅力溢れる平和のビジョンを創造する必要がある。

まずは、国際化が加速する次代に向け、市民が外国人と相互理解を深めるために、歴史的事実を正しく認識し、名古屋や日本のみならず、世界中で未だ終息が見えない紛争やテロ等の国際問題を宗教や人種を超えて、未来志向で建設的に語り合い、平和に対する意識を醸成する例会を開催する。そして、新たな歴史観を次代に語り継ぐ土壌を構築するために、戦争経験者の声を若者世代が継承し、子供たちの心に残し未来に紡いでいく契機となる事業を実施する。さらに、安心・安全に暮らせるまちを実現するために、将来発災する可能性がある自然災害に対して、過去の天災の教訓を学び知恵に変え、人のつながりを活用することで、新たに継続性のある防災・減災・復興における市民の意識改革と、市民がどのように備え、どう行動すべきかを発信する例会を開催する。また、名古屋青年会議所が自然災害などの有事の際に地域や企業で率先して行動できる力を発揮するために、今まで培ってきた諸団体との協力体制を新たな形で再構築し、実践に近い体験を通じて発災後の被災者への迅速な対応や心のケア、災害に対する専門知識を身に付ける事業を実施する。

戦争や災害の歴史を次代へつなぐ使命感を胸に、恒久的な平和への想いを醸成し、天災の脅威からも解放された防災都市として日本の旗手となり、誰しもが心の安寧を保ち続け、充実した人生を送ることのできる「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

次代へつなぐ歴史観構築委員会方針

委員長 八木 俊行

グローバル化により国境の垣根が取り払われつつあるが、今も日本の近隣には核保有国が存在し、世界各地で紛争やテロが常態化している。これまでの歴史を踏まえ、日本は未来に向けて関係諸国と共に歩むという確固たる平和への想

いを次代に承継する必要がある。

まずは、克服すべき課題を把握するために、混迷を深める世界情勢の推移や日本を取り巻く国際社会の現実を調査・研究する。そして、各々の思想に拘わらず、人々が理解し合うために、市民が自国のみならず他国の歴史・文化に加えて互いどのような印象を抱いているのかを率直に語り合うことで、相手に対する偏見を除去し、共存共栄の意識を醸成する例会を開催する。さらに、次代を担う子供たちが平和な世界秩序の実現に向けて積極的に行動するために、現代日本では目にすることのない戦争の凄惨さについて、戦争体験者の声を若者世代が聞き取ることを出発点として決して忘れてはならない歴史的事実と教訓を語り継ぎ、次代へつなぐ事業を実施する。

歴史的経緯に縛られず、国境や人種を超越した自他一如の精神を持ち、隣人と共に希望溢れる平和な社会の実現をけん引する「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

セーフティビジョン研究委員会方針

委員長 山邊 信之

日本は、様々な自然災害が多発してきた国であり、名古屋も大規模な震災に見舞われる可能性が高いにも拘わらず、市民の防災意識は極めて低い。行政による公助に頼るのみならず、市民・地域が自助と共助を実践していく明確な防災ビジョンを共有する必要がある。

まずは、市民一人ひとりが継続的に当事者意識を持ち続け、有事の際に自助と共助を実践できるようにするために、危機意識を喚起するのみならず、発災時にどう行動すべきかという知恵と、即座に実践できる術を学ぶことのできる例会を開催する。そして、我々が発災時に地域や職場でリーダーとして機能するために、実践を想定した体験を通じて、救助や支援等の専門知識を習得する事業を実施する。さらに、発災後の迅速な救援や復旧のみならず、被災者の心のケアまでもができるスキームを創出するために、これまで連携を進めてきた関係諸団体に加え、新たな団体と連携を行うことで、それぞれの分野の専門性が最大限に発揮できる組織体系を構築する。

当事者意識を高めた市民が地域や行政と共に、防災都市に求められる高度な専門性を有する包括的なネットワークを形成し、「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

【NAGOYA価値観創造室方針】

室長 林 稚人

名古屋は食文化をはじめ、産業、教育、人材、技術等あらゆる資源が充実した成熟期を迎えた都市であり、その眼前には世界の人々と関わり合うことのできるMICEの開催やJCI世界会議の誘致等、名古屋が国際都市へと変貌を遂げられるチャンスがある。世界が抱える数々の問題を我々が率先して行動し解決へと導き、名古屋の可能性を認知した市民や行政と力を合わせ、国際都市NAGOYAの魅力の世界へ向けて発信する必要がある。

まずは、世界とつながる意識を醸成するために、名古屋と世界を知る国際的な視点を持つ有識者から、名古屋の素晴らしさを伝えていただき、JCI世界会議誘致へ一歩を踏み出す、名古屋の未来を発信する例会を開催する。そして、名古屋の魅力を世界へ発信するために、行政と連携し、世界の人々と会員・市民がつながりを持つ国際交流事業を実施する。さらに、世界へ羽ばたく国際的な人材を育成するために、未来を担う日本と海外の若者が、これからの世界の未来について意見交換をし、お互いの価値観を共有する人材育成プログラムを実施する。また、会員の国際への意識を高めるために、姉妹JCIとの新たな交流事業を国際会議の場で実施する。そして、国際社会の中での名古屋の未来を確立するために、国際支援の意義を理解し、市民が世界の問題に対して考え、名古屋発信の国際支援を提唱する例会を開催する。さらに、これまでのような一時的な支援ではない持続可能な新たな国際貢献をするために、開発途上国が自立するための経済活動を伴った国際支援を名古屋のものづくりの技術を通じて行うことで、継続的な国際間のつながりを実現する。

世界から見た名古屋の魅力を再認識した会員と、世界とつながった若者が、国際都市として未来へのビジョンを明確に持った行政や市民と共に、魅力溢れるまちNAGOYAを世界に向けて持続的に発信し続ける、「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

NAGOYAの未来発信委員会方針

委員長 只井 秀明

世界のグローバル化に対応すべく、閉鎖的と言われる市民の国際感覚を養うと共に、国際的な都市としての名古屋の存在感を高めていかなければならない。市民や行政が一体となり、名古屋を開かれたまちとして世界から認知される国際都市へ進化させる必要がある。

まずは、国際都市へと変貌していく名古屋の魅力を世界に認知させるために、名古屋の世界に誇れる魅力や国際化に向けた課題を調査すると共に、市民にグローバルな視点を示し、世界に対して影響力を与え続けられる名古屋のまちの潜在能力を発信する例会を開催する。そして、名古屋のファンを増やすために、名古屋を訪れた外国人に対して、産学官と連携し、名古屋の魅力を体験できる取り組みを行う。さらに、会員が国際感覚を身につけるために、世界の価値観を学ぶことのできる国際交流事業を実施する。また、会員が世界的な組織に所属することを実感し、そのネットワークを活かすために、ASPACや世界会議の意義を伝え積極的な参加推進を行う。

市民が国際感覚を身につけると共に、進化していくまちの可能性を認識し、行政と共にNAGOYAの魅力を世界へ発信する「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

グローバルネットワーク推進委員会方針

委員長 林 宏和

国際化を進める名古屋には、インフラの整備のみならず、人と人とを結ぶグローバルなネットワークの構築が求められている。次代を担う市民を国際的な感覚を持つ人財として育て、多様性を受け入れながら切磋琢磨することのできる国際交流を推進する必要がある。

まずは、我々がこれまで独自に築いてきた世界とのつながりを確認し、その関係を一層強化するために、全ての姉妹JCを訪問して各地の運動の実態を調査すると共に、我々の運動に対する理解の得られる交流を行う。そして、会員の国際感覚を醸成するために、世界の会員と交流することのできる国際色豊かな新たな機会をASPACの場において提供する。さらに、次代を担う若者を世界に通用するNAGOYA人として育成するために、海外の若者を名古屋へ招き、互いに文化や価値観の違いを受け入れながら、その先に生まれる敬意と相互理解を基礎として、未来の国際社会のあるべき姿をテーマに意見を交わし合う合宿型の人材育成プログラムを実施する。

国際的な感覚を持ち、世界とつながった会員と市民が、自発的に世界との交流を深め、互いの違いを認め合いながら高め合う「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

クールでホットなNAGOYA創造委員会方針

委員長 鈴木 里英

グローバル化が進む世界において、未解決の課題が山積しているが、市民の国際感覚は低く、どこか他人事を感じているところがある。我々は、一時的な貢献ではなく、市民が名古屋の長所を活かし、生活の中で実践できる持続可能な国際貢献を創造する必要がある。

まずは、現地の実状に適した貢献のあり方を研究するために、世界の課題の一つである貧困を抱えている国の環境や文化を調査する。そして、貧困解決へ向けた運動を展開するために、名古屋で受け継がれてきたクールなものづくりを現地の生活が豊かになるよう活かし、利他の精神を持った名古屋人のホットな心で、持続可能な国際貢献のあり方を創造する事業を実施する。さらに、市民が国際社会の課題を自分事と捉え、課題解決に向けて実際に行動するために、世界の様々な課題について市民と共に考え、事業で創造した国際貢献のあり方について共感を得られるよう発信し、名古屋の地において日々の生活の中で実践可能な取り組みを提唱する例会を開催する。

市民が国際感覚を高めると共に世界の課題を自分事と捉え、名古屋の長所を活かした小さくとも温かな国際貢献を積み重ね、「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

【オリエンテーション特別委員会方針】

特別委員長 白瀧 征人

我々は、品格ある青年たちの多様性を活かしながらダイナミックな活動を展開し、市民意識変革運動を力強く推進していかなければならず、会員一人ひとりがJAYCEEとしての誇りと共通理念を持ち、一致団結した強いチーム力を備えた組織をつくる必要がある。

まずは、我々の理念に賛同し、同志となるに相応しい品格ある青年に入会してもらうために、会員一人ひとりが、この組織に集い運動を続けている意義を再認識し、自分自身の経験してきた意識の変革や、人生を変えるような人との出会いについて情熱を持って伝えることで、入会候補者の意欲と期待が高まる会員募集活動を行う。そして、既存の会員と新入会員が同じ理念と誇りを持ち、共に活動していける組織を築くために、チームに必要な組織のルールを教育すると共に、新入会員同士の友情を育み、変化や困難を恐れず挑戦を繰り返しながら己を磨き、自分のためだけではなく人やまちのために行動できる青年へと成長させるオリエンテーションを実施する。

新入会員が、共通の志のもと、規律を遵守しつつも個々の独自性を存分に発揮し、何事にも積極果敢に挑戦する会員となり、「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

【総務室方針】

室長 佐地 宏之

名古屋青年会議所は、志高き勇気ある青年の集まりとして発足し、今もなお市民意識変革団体として大きな社会的役割を担っている。我々は、創始の精神を受け継ぎながら、時代の先駆けとして、新たな価値観を提供し続けられる団体であらねばならず、会員の一人ひとりが勇気を持って新たな試みに挑戦すると共に、組織が一丸となって共感の得られる魅力に溢れた運動を発信できるよう、誇りある運営によって組織を支えていく必要がある。

まずは、会員の力を最大限に引き出すことのできる環境を整えると共に、全ての運動を青年会議所の本質を捉えたものとするために、些細なことも決して疎かにせず、当たり前のことを当たり前で粛々と遂行し、総務・財務の両面から組織全体を誠心誠意支援する。そして、公益法人格堅持に必要な透明性や公益性を今後も担保するために、これまでの公益社団法人としてのあり方を検証し、コンプライアンスを徹底した運営を行うと共に、最適な収支予算の立案の補佐並びに決算を行い、会員から預かった大切な資金が効果的に使われるよう適切に管理する。さらに、本質を突いた議論が闊達に行われるために、青年会議所の根幹たる諸会議の運営を厳粛かつ効率的に遂行する。また、これまで培ってきた自治体や諸団体との関係を活かしつつ、全会員が誇りを持って活動し、より一層の理解と共感の得られる運動を展開するために、内外に対して本年度の運動方針を力強く表明する1月例会を開催する。そして、これまで青年会議所運動に尽力されてきた会員に感謝の意を表し、その誇りと精神を後進に伝承していくために、真心を込めた12月例会を開催する。

絶えず進化しながら連綿と紡がれてきた伝統を礎とする組織を凜然と支え、誇り高きJAYCEEとして最大限に力を引き出された会員一人ひとりが、市民の意識を変革するに足る魅力溢れる運動を力強く展開し、「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

財務委員会方針

委員長 松永 圭太

我々は、先達が積み重ねてきた伝統を今に受け継ぐ志高い青年の集まりである。伝統を継承しながらも、常に新しい運動を発信し続ける先駆けの団体として、誇りを持った堅実な組織運営を継続し、会員の力を最大限に引き出せる盤石な組織の土台を築く必要がある。

まずは、公益目的事業比率を保持しつつ、運動発信の最大化を図るために、最適な収支予算の立案を補佐する。そして、公益法人格堅持に求められる透明性や公益性を担保するために、公益社団法人としての運営のあり方を検証し、コンプライアンスを徹底した堅実な組織運営を行うと共に、厳格に資金を管理し、確実な決算を行う。さらに、実行力の伴った魅力溢れる運動を構築するために、本質的な議論へと導く諸会議の運営並びに補佐を遂行すると共に、議案書を徹底して管理し、誇りを持って予算書作成の指導と助言を行う。また、会員同士が運動の成果を分かち合い、その内容を確実に次代へ引き継ぐために、1年の軌跡を振り返る12月例会を開催する。

堅実かつ誇りある組織運営が会員の力を最大限に引き出すと共に、会員の行う魅力溢れる運動が市民の意識変革をもたらし、「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。

総務委員会方針

委員長 高橋 雅大

名古屋青年会議所は創設時から変わらず、今もなお市民意識変革団体として、社会的役割を担い活動している。我々

は先駆けの団体として常に新たな運動に挑戦し、市民から共感を持って受け入れられる運動を構築することのできる盤石な組織運営を行う必要がある。

まずは、公益法人格を堅持しながら、会員の力を最大限に引き出すことのできる環境を整えるために、公益社団法人としてのあり方について検証を行うと共に、基本資料や定款諸規程を確実に管理・運用し、事務局と連携しながら対内外の調整を行うことで、堅実かつ円滑な組織運営を実践する。そして、より良い運動を構築していくために、議案書を受領するのみならず、その作成段階における細やかな指導や的確な助言を行い、本質的な議論を交わすことができる諸会議を実現する。さらに、全ての会員が誇りを持って一丸となり、理解と共感の得られる魅力的な運動を展開するために、内外に対して本年度の運動の方向性を華麗に発信する1月例会を開催する。

盤石な組織運営が会員の力を引き出し、会員一人ひとりが誇りを持って、市民から共感の得られる魅力溢れる運動を展開し、「新たな価値観を創造するまち名古屋」を実現する。